

安 全 情 報

No 37 / 2017

野党支持者による抗議集会・デモに関する注意喚起

野党連合 MUD は、治安当局によるデモに対する抑圧への反対、制憲議会の召集への反対、マドゥーロ大統領の退陣、諸選挙の実施等を求め、6月14日（水）、カラカスにおいて抗議集会・デモを呼びかけています。

4月以降、野党支持者と治安機関との衝突が相次いでおり、多数の死傷者や逮捕者が出ていることから、デモ・集合場所付近には、絶対に近づかないようにお願いします。

記

1 抗議集会の予定

野党連合 MUD は、治安機関の取締りを避けるため、集合時間、集合場所、デモや抗議の方法については、14日（水）の実施直前に発表するとしています。

2 注意事項

- (1) デモが始まれば、ビクトリア通り、フランシスコ・デ・ミランダ通り、フランシスコ・ファハルド高速道路等の主要道路の一部が閉鎖されると思われます。
- (2) 抗議集会後、チャカオ市内各地（アルタミラ広場等）にデモ隊が再集合し、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があります。
- (3) 治安機関は、デモを制圧する際、催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件が発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇した場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。
- (4) 治安機関は、ビー玉状のものを弾頭として使用したスラッグ弾を、ショットガンから発射している可能性があります。このスラッグ弾が命中した場合、ビー玉が身体にめり込み、人を骨折させる程の威力があり、極めて危険です。
- (5) デモ隊の中には、通常の火炎瓶だけでなく、手製バズーカ砲の様なものを使用して、ロケット弾のように火炎瓶を遠距離まで飛ばす可能性があります。これは、完全装備の治安要員を負傷させる程の威力があり、極めて危険です。
- (6) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。